



紫 光

令和4年度 夏休み号

亀岡市立詳徳小学校

令和4年7月20日発行



1学期が終わりました

京都の夏の風物詩の1つである祇園祭、前祭りの山鉾巡行が3年ぶりに行われました。祇園祭は平安時代前期、京で疫病が流行した際、八坂神社の神輿を迎えて災厄が取り除かれるよう祈ったことが始まりとされます。新型コロナウイルス感染第7波が危惧される中、ウイルスの退散を願うばかりです。

さて、4月11日に新学期がスタートして早4ヶ月、本日第1学期終業式を迎えました。こうして無事1学期の学習を終えることができましたのも、保護者の皆様、地域の皆様に、児童の登下校の見守りをはじめ、様々な場面でご理解とご協力を頂いたおかげと感謝しております。誠にありがとうございました。

今学期は、感染対策をとりながら修学旅行や野外学習、授業参観や水泳学習等が実施できました。特に水泳学習は、時間数は少なくなりましたが、クラスごとに実施したことで広いプールをゆったりと使うことができ、子どもたちにとって本当に楽しい学習となりました。様々な行事が延期や中止されることなくできることのありがたさを、改めて感じる学期となりました。

明日からは長い休みに入ります。できる限りリズムを崩さないよう規則正しい生活を送っていただきたいと思います。特に育ち盛りの子どものたちにとって食生活は大切です。学校給食の献立は、給食センターの栄養士をはじめ学校関係者やPTAの役員の方々の意見を聞きながら、綿密な栄養管理がされています。毎月の「きゅうしょくだより」には季節にあった栄養や食の話が分かりやすく書かれていますし、子どもたちの健康を何より大切に思う気持ちが込められています。夏休み号には、おすすめレシピも紹介されていますので、ぜひご活用いただければ幸いです。また、食育を通して学ぶことは健康づくりだけではありません。先日、生活科の学習でミニトマトを育てている2年生の児童が、朝収穫したトマトを持っていたので「おいしかった?」と尋ねたところ「まだ食べていない」と答えが返ってきました。とれたトマトをまずは家族に食べてもらったからだそうです。自分が育てたものや作ったものを「おいしい」と言ってもらえる喜びや、作ってくださった方への感謝の気持ち等、食を通して育む心を大切にしたいものです。

39日間の夏休み。コロナ禍の中で感染防止をしながらの長期休暇となりますが、普段できない様々な体験を行う絶好の機会です。作品制作に取り組む、課題について調べる、読書をする、動植物を育てる等、工夫をしながら有意義な学びとなるよう、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

休み中は、校舎改修工事のため、保護者の皆様、地域の皆様には、ご不便やご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

8月29日の2学期始業式には、子どもたちの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

新聞や本に親しむ習慣を・・・

今年度、本校では「言語力」を高める取組を進めています。その一つに「デジタル新聞」を読む時間を設定しています。児童一人一人のタブレットで読むことができ、朝学習や国語の時間等を利用して、日々の出来事に目を通し、知識を広げたり興味のある記事について詳しく調べたりしています。各学年の夏休みの課題としても取り組みます。ぜひ、お子様と一緒にご覧になり、記事の内容について話題にしてみてください。

また、「読書」にも力を入れています。先日から、お家の方への本の貸し出し「ふあみよみ」の取組を始めたところ、早速多くの貸し出し希望をいただいています。順番が回ってくるまでお待ちさせる事態になり、申し訳ありません。2学期、さらに充実した取組にしていきたいと思っています。長い夏休み、親子でじっくり本に親しむ時間が作れると嬉しいです。

